

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

野見湾の広範囲で海水の着色が確認されました。

検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で22cells/ml、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で3cells/ml確認されました。

アレキサンドリウム属については、平成29年に養殖魚の被害の原因となった種類であるアレキサンドリウム・レーイが多数含まれておりました。

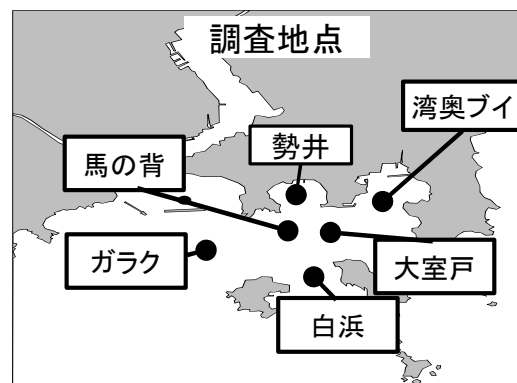
コクロディニウム・ポリクリコイデスについては、アカシオ・サンガイネアの終息後に赤潮となった事例がありますので、今後の動向にご注意ください。

今後、増殖拡大する可能性がありますので、慎重な養殖管理をお願いいたします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 1 検鏡結果 (cells/ml)

		アレキサンドリウム属	アカシオ・サンガイネア	コクロディニウム・ポリクリコイデス
勢井	0m	11	7	0
	2m	13	34	3
馬の背	0m	11	8	2
	2m	18	32	0
大室戸	0m	3	59	1
	2m	12	159	0
ガラク	0m	4	4	0
白浜	0m	0	0	0
	2m	3	12	0
湾奥ブイ	0m	3	8	0
	2m	22	47	2
	5m	18	38	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・アレキサンドリウム属(カテネラ): 500~cells/ml(貝の毒化)
- ・コクロディニウム・ポリクリコイデス: 数百~1,000cells/ml(魚類のへい死)